

食べ物・飲物による子供のやけどに気をつけて！

やけどによる救急搬送は0歳から4歳の子供に特に多く、中でも味噌汁・スープなど食べ物・飲物によるものが多く発生しています。



こんな事故が起きています！※1

- 自宅でテーブルの上に置いてある味噌汁のお椀が乗ったお盆を、男児が引っ張って味噌汁をこぼし、背中、右脇腹をやけどした。(1歳 男児 重症)
- 1歳の男児が母親に抱っこ紐で前に抱かれた状態で寝ていた。母親が味噌汁を食べている最中に男児が目を覚まし暴れた際に、味噌汁が左頬にかかり受傷した。(1歳 男児 中等症)

少量のお湯で大事故になることも！

乳児の場合、身体の表面積の10%以上のやけどで生命が危険な状況になるとされています※2。実際にお椀1杯程度の量の味噌汁(今回は150mlのお湯を使用)でどの程度の範囲をやけどするのか、乳児型人形を使って調べました。

【試験内容】

30℃程度に温めた生後7～10か月の乳児の大きさの人形に服を着せ、150mlのお湯(90℃程度)を人形の胸部にかけ、表面温度変化を計測しました。

【試験結果】

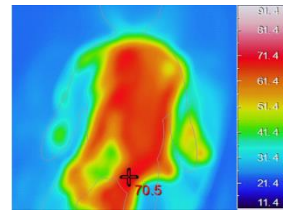
10秒経過しても、高温となる範囲は首の下から脚部まで、服を着ている部分の広い範囲に及びました。



150mlのイメージ
(味噌汁)



乳児型人形



10秒後の熱画像

⚠ 事故を防ぐポイント

やけどの恐れのあるものは、子供の手の届くところに置かないようにしましょう！

テーブル上に置かれた熱いものが入った容器を子供が引き寄せ、内容物を浴びてやけどを負う事故が多く発生しています。テーブルの隅など、子供の手の届くところに熱いものは絶対に置かないようにしましょう。

子供の手の届く範囲はデータ等に基づいて判断しましょう！

子供は思いがけないところまで手が届きます。熱くなるものを置く場合は、データ等(計測値や右図)に基づいて置き場を決めましょう。

【出典】

※1 《日常生活における事故情報》東京消防庁

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/topics/nichijou.html>

※2 《乳幼児の事故防止教育ハンドブック》東京都福祉保健局

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kodomo/shussan/nyuyoji/jiko_kyouiku.html

手の届く範囲+台の高さの目安

- 1歳 = 90センチ
- 2歳 = 110センチ
- 3歳 = 120センチ
- 4歳 = 130センチ
- 5歳 = 140センチ



国研)産業技術総合研究所資料より

動画
発信中！

《食べ物・飲物による子供のやけどに気をつけて！》YouTube 東京都チャンネル

<https://tokyodouga.jp/10000001514.html>(仮)

問合せ先 生活文化局消費生活部生活安全課

TEL 03-5388-3055